

日本語教室ぺらぺら会(火曜・金曜コース)全体会の議事録

日時

:場所

令和1(2019)年9月17日(火)

文化会館3階会議室

司会&記録担当(敬称略)

林(代表=司会) & 神田(副代表=書記)

1 2019年9月20日(金)の「修了式」次第が以下の通り確認されました。

開会の辞	司会者(林代表)
修了証書授与	帯刀繁 財団事務局長
挨拶	帯刀繁 財団事務局長
皆勤賞の授与	賞状と副賞(記念品)
学習者によるスピーチ	各クラスリーダーが順番を指名する。
閉会の辞	司会者(林代表)

グループ写真の撮影

懇親会

注:皆勤賞の賞状・副賞の準備(選定と購入)、懇親会の設営準備(テーブルセットと買い出し、等)に関する担当者が選出されたが、詳細は割愛させていただきます。

2 財団の米澤さんから、後期コースへの申し込み概要が情報提供された。

火金コースへの新規申込者が、25人。

継続受講者が、19人。

合計、現時点で、44人である。

火金コース(夜間)への受講希望者が増加している。

また、現Cクラス継続者がCクラスに留まることで、Bクラスからの後期Cクラスに上がる学習者や、新規Cクラス学習者が人数的、レベル的にも入りづらくなるのではないかという、懸念が出たが、今回に関して言うと、残留継続する人数が多くないことと、後期Cクラス予定の学習者は、問題なくついていけるという先生方からの意見もあり、後期開講してから学習者のレベルをみていこうという話になった。

また、積極的に、水曜会話サロンや他のボランティア日本語教室を紹介するように勧める。

また今後学習者が増加していく事を予想して、クラス継続する学習者に関して、個々の学習者の意思を尊重しながらもよりよい学習環境を提供できるように、受け入れの方向性を検討していく事が課題に上がった。

結果としては、

量的・質的な、予測不十分な各種「困難」はあるだろうが、財団と講師とが一緒になって、「やりながら考えて行こう・そして対応して行こう」と結ばれた。

以下余白。

〈出席者〉森田、鈴木(雄)、棚木、朝倉、小藤田、熊井、村松、能川、奥園、川井、本家、林、神田。以上13名。

〈交流課〉米澤

次回は2019年10月29日(火)です。